

杏林大学研究業績集の発行に寄せて

大学の重要な使命に、研究があります。またその研究結果を広く社会に向けて発信することも、きわめて重要な役割であります。

これまで本学では、“杏林大学の現況”の中で、各学部専任教員の業績を、毎年公表してきました。しかし、枚数の制限もあり、掲載はおおよそ代表的なものに限られています。一方より詳細な業績について、医学部と保健学部は杏林医学会が取りまとめて公表し、総合政策学部は杏林社会科学研究、外国語学部は外国語学部紀要に掲載をしてきました。

今回これらをまとめ、さらに共同研究や公的研究費採択実績などを加えた、杏林大学全体の業績集を発行することになりました。これにより、学内外において、本学の研究の実態把握が容易となり、様々な共同研究へと道を拓くことが期待されます。杏林大学研究業績集の発行により、本学の研究活動が一層活発となることを願っております。

本業績集の発行は、全学の教員の協力がなければ不可能でした。またこれを取りまとめていただいた、教員、職員の尽力はまことに大きなものでした。心より感謝申し上げます。

平成24年2月

学長 跡見 裕